

愛知軍政部月例報告翻訳（その 12）

占領期社会教育史研究会

新海英行 大田高輝 榊原博美 林恭子 村瀬桃子

司令部

愛知軍政部

APO 7 1 0（名古屋、本州）

附属文書 E

軍政活動報告

1947 年 12 月 31 日までの間

民間情報及び民間教育

筆者：ロイ・B・パワーズ [Roy B. Bowers]

1. 教育：

a. CI&E は 12 月の間に、5 校（5）の定期的な学校視察に加えて、26 校（26）の中学校を訪問した。

b. この県の中学校は、以前に報告された何らかの好ましくない状態からゆっくりと脱出し [emerge] つつあるようである。

c. 12 月 6 日に愛知県の議員との会議が開かれた。彼らは、また教員もしくは校長であった。その会議は、学校のための県の支援を増大させるプランを議論するためのものであった。

d. CI&E 担当官は、12 月 26 日に名古屋で開かれた愛知県、三重県、岐阜県の教育指導者の会議に出席した。その会議は、来学期の高等学校のプログラムを議論するために招集され、要望に応じて議論に入った。

e. 12 月 10 日に豊橋で開かれ、287 名が参加した社会教育の教員と校長 [social education teachers and principals] の会合で、CI&E 担当官は、「社会科 [Social Studies] の教授」という主題で講演した。

f. CI&E 担当官は、来訪中の教員と校長 103 名が出席した「道徳教育」の実演に出席し、12 月 12 日に小牧の初等学校で、「コミュニティースクール」に関してその集団に講演した。

g. 週例の会議が、愛知県行政の教育部門からの代表者との間で開かれてきている。

h. 幡豆郡、額田郡、宝飯郡の視学官、岡崎市と豊橋市の視学官、豊橋市と岡崎市の市長、愛知県の 7 つ (7) の村の村長との間で、個別の会議が開かれた。

i. 婦人問題 [affairs]

(1) CI&E 補佐官は、12 月 12 日に東三河地区のために豊橋で開かれ、12 月 19 日に尾張地区の尾西地域のために一宮で開かれた「現代時事フォーラム [Current Events Forum]」と名付けられた 2 つの地域的な一日中の会合で講演者となった。各々の会合のために、婦人団体を代表している 1 つの地域委員会が、会合の場所と登録の手続き [mechanics] とその他の事項を決定する。豊橋の会合には 156 団体を代表する 305 名の婦人が出席し、一宮の会合には 235 団体を代表する 503 名の婦人が出席した。朝の会議 [session] は招待された講演者による 2 つの 15 分間講話に当てられ、彼女たちの団体の活動の代表者によって報告される。講話と報告は、その後討議によって続けられる [are followed up]。午後の会議 [session] には、CI&E 補佐官による 1 時間半の講話が含まれ、例えば青少年非行、児童保護 [child care]、家庭生活の簡素化、勤労婦人の問題、そして農村婦人の生活の改善といった話題にかんする複数の討論セクション [sections] へと分れ [breaking up]、さらにその後全グループへと続く [followed]。代表者は、若い婦人の協会や労働組合や PTA の福祉グループを代表する。代表者のうちごく少数者は、彼女たちの団体の立場からの建設的な理解を示すよりもむしろ、不平不満を報告するけれども、彼女たちのうちのほとんどは、例えば [不明瞭] 問題、戦争被害者の福祉、青少年非行、学校における改良といった分野での活発な努力を表明し、反閨市運動や安全キャンペーンに参加することや、インフレとのたたかいに参加することや、家や村の衛生設備の改善に参加することに、活発な関心を示す。

(2) CI&E 補佐官は、12 月 1 日、2 日、3 日に横浜で、婦人問題研究会 [Women's Affairs Conference] に出席し、2 つの PTA 会合、上記の #1 に加えて 1 つの婦人の協会の会合、1 つの社会教育学級に、1 人の講演者として参加しており、農村婦人の問題にかんする、地方新聞主催の円卓討論に参加した。

2. 情報 :

a. CI&E 担当官と CI&E 補佐官の双方は、4 日間の公共情報プログラムに参加した。それは、名古屋商工会議所 [the Nagoya Chamber of Commerce and Industry]、名古屋市、愛知県行政によって主催されたものであった。

b. 11 月の学校視察と学校訪問の間に、次のことが記録化された。それは、訪問された学校が、共同募金、反閨市、米徴収、土地改良、そして「安全第一」に関して、ポスターや標語や随筆 [essays] や時事風刺漫画 [cartoon] や生徒への要望といった方法で、広報運動を強力に支援していたことであった。

c. CI&E 補佐官は、地方の報道関係者との記者会見を設定することと、MG 部門が“広報活動 [Public relations]”を意識化するようになるよう要求することに関して、この月に集中させてきている。共同募金のための最終週の運動の一部として、指揮 [Commanding] 担当官を含む 5 名の M.G. 担当官は、声明を発表した。その経済部門は、14 の情報の公表を提言した。それらは次の項目を含んでいる。農業会の協同組合化と解体 [dissolution]、米俵生産 [straw bag production]、米徴収、砂糖の出荷 [shipment]、そして一般的な土地改良情報であった。これらのうち 4 つは SCAP 発表より再び書かれたものである。公衆衛生、公共福祉、労働部門も、また、情報を公開した [submitted releases]。

d. 一つの会議が、愛知県行政の警察部門との間で、広報活動を議論するために開催された。議論の主要な項目は、反閨市運動と青少年犯罪防止活動 [Work] の継続的検討であり [follow up]、12 月 16 日～30 日の会期で、名古屋の丸栄百貨店で開催された共同 [joint] 展示で最高潮に達した。(展示はお正月休みの週にまで延長されてきている。) その展示の最初の 6 日間の来場者は 124,000 名と見積もられた。

3. その他の CI&E 事項 [Matters] :

a. CI&E 職員は、12 月 16 日と 17 日に、この司令部の CI&E 事務所で、SCAP・CI&E のドナルド・タイパー [Donald Type] 氏によって指揮された一連の青少年指導者と社会教育指導者の研修会を調整して、参加した。

b. CI&E 東海北陸地区軍政部の C. E. パーカー [Perker] 氏は、愛知県の学校へのガラス [glass] の分配にかんする調査を行なうこの事務所で数日間過ごした。この事務所は、この調査に協力しつつあり、その調査が完了される時に、その調査結果の「特別報告」を作成するであろう。

c. 2 つ(2)の新しい CI&E 読書室が、1 つはシオテン [Shioten?] に、1 つは挙母に、設置されてきている。県内の読書室の総数は 9 つになる。その他の 2 つの読書室が設

置の途上にある。

d. 愛知適格審査委員会は、12月の間に232人を審査し、そのうち226人が適格であった。

e. 数週の間、CI&E担当官は、英語担当の日本人教員のための学級を執り行っている。その学級は、土曜日の午後に開催される。平均的な出席者は、200名以上である。関心は、高くなってきている。

f. 以下の講義〔lectures〕が、12月中に、CI&E職員によって提供された。

聴衆の特徴	場所	出席者数
社会教育講師〔Teachers〕	豊橋	287
日本人大衆〔public〕	名古屋	400~500
日本人大衆	〔不明瞭〕	305
教員と校長	〔不明瞭〕	103
PTA	〔不明瞭〕	400
短期大学女子学生（PTAによる提供）	安城	300
婦人団体の代表者	豊橋	305
同上	一宮	503
農村婦人（社会教育学級）	長久手	100
婦人グループ	春日井	300

〔以上、GHQ/SCAP RECORDS, BOX No.2496, SHEET No.CAS(B)-10185、大田高輝訳〕

司令部
愛知軍政部
APO710（名古屋、本州）

附属文書 E

軍政活動報告
1948年1月31日までの期間

民間情報及び民間教育

筆者： R. B. パワーズ氏

1. 教育：

a. 学校視察

- (1) 1 月中に知多郡における中学校 4 校と小学校 1 校を視察した。
- (2) 通常の視察形式に加えてこれらの学校の教員たちに 30 項目の質問紙が使用された。そして、各学校で 3 人ないし 5 人の教員に個別の聞き取り調査が行われた。
- (3) これらの視察に際しては、訪問した各村の村長、地区の視学、及び 1 名の県視学が同伴した。
- (4) CI&E は、占領軍はまもなくしたら日本から撤退し、われわれは古い制度に戻るのだらうという考えで、幾人かの村長は中学校校舎の建築に反対しているという報告を調査中である。

b. 研修会

- (1) 30 校の「実験」中学校が県内に設置された。1 月 19 日、20 日、22 日及び 23 日に、これらの学校の代表者が参加する一連の丸 4 日にわたる研修会が開かれた。村長、市長、及び PTA 会員、そしてむろん一般民衆もこれらの集まりに招かれた。

c. 成人教育

- (1) CI&E は、公民館の設置を促進し、計画を立てるために、県の社会教育課長と 2 つの会議を開いた。
- (2) 婦人事項

CI&E 補佐官は次のことを報告した。

- (a) 2 月 24 日午後開かれる婦人教育に関する会議についての計画を話しあうために、1 月中に婦人大学卒業生協会（大学婦人協会）の役員と 3 回にわたって会合した。
- (b) 新日本婦人同盟（新日本婦人同盟）と 2 回会合を持った。1 月 5 日、この組織の役員は、K. サイトウ女史ら来名中の全国連盟副会長と同伴し、彼女たちを当課に紹介した。その時は、一般的な諸問題について話し合った。役員たちは、1 月 12 日に会合を持つので CI&E 課にもどるようにと依頼された。この

会合では、名古屋支部の会員は 40 名であり、半田支部の会員は約 10 名であると開示された。名古屋支部の前総会は 7 月に開かれた。役員会は月 1 回開かれる。現在、グループの主な活動は福祉委員会で婦人を選任するよう知事に働きかけることである。選挙中に組織に所属し、それを支援する若い婦人たちが脱会してきていることが報告された。役員たちには以下のことが助言された。役員会は月例の会員会議を計画すること。会員の関心ないし組織のプロジェクトに関する委員会が設置されること。新会員がどの会議にも参加できるように規定が作られること。そして会員委員会が組織されること。

(c) 会則、各委員会の事業、プログラムの計画、一般的な組織活動を作成するために、14 の他の地方グループと協働して 5 つの個別の会議が開かれた。

(3) 社会教育課の報告によれば、以下のようなものである。1 月 31 日現在、全会員 21,785 人—ほとんど女性—を擁する 250 の社会教育学級が存在している。そのうち、34 学級は「模範社会教育学級」と呼ばれている。各学級の会員は 35～80 とさまざまである。地方の学校長はすでに学級の責任ある担当教員として任命されている。会合は月例でまたは頻繁に開かれる。一般的には、学級のプログラムは時局的社会的、教育的、及び経済的諸問題を扱っているようであるが、しかし、それらは総じて地方職員たちによって立案されているようである。県の社会教育課職員への助言は以下のとおりである。

(a) 各学級代表者たちによって構成される地方「社会教育委員会」が組織されること。この委員会は、プログラムに関する一般的な諸問題について審議し、プログラムを提案し、おそらくすべての学級が利用可能な学習ガイドを準備することになる。

(b) 学級の会員たちはディスカッションを通してプログラムと活動のための提案を提出することが求められること。

(c) 地方の社会教育職員には女性が任命されること。県の〔社会教育〕部局の社会教育活動には 2 名の女性職員を〔正規の〕スタッフとして配置している。

(d) 社会教育課は全プログラムを分析し、将来のプログラムを作成するために、すべての学級から参加する代表者たちの、2～3 日の研修会を春の早期に開催すること。

2. 情報：

a. 本月中に 6 つの読書室を訪問した。そしてどの読書室にも追加的な 100 誌の雑誌を提供した。名古屋商工会議所の読書室—SCAP の図書館が開館した時一時閉館された

ーは再び開館された。

b. 本県における 6 つの巡回図書館のために、現在、巡回路線が設けられている。

c. 愛知県庁の視覚教育課は、CI&E プロジェクターと CI&E オペレーター（日本人 [Japanese Nationals]）を使って 8 つの場所で全 1,020 人を対象に 17 本のフィルムを上映した。

d. 民間情報プログラム

CI&E 補佐官が次の活動を報告している。

- (1) 農業会の解体、とくに農業協同組合の組織化のために、経済課の担当官及び県関係者と関係する個人と 3 つの会議に参加した。
- (2) 闇市場を撃退する運動の継続のさらなる計画について話し合うために、経済犯罪警察と会合を持った。経済犯罪警察は、闇市場問題を扱う歌、漫才、紙芝居を含む余興を演ずる宣伝車（朝日新聞社の“ポーリー”車 [“POLLY” car]）で県内を広く巡回することを企画した。この巡回は 2 月中も継続する予定である。
- (3) 12 月 16 日～1 月 16 日に開かれた闇市場と青少年非行の展示を評価するために、丸栄百貨店の経営者と経済犯罪警察によって召集された会議に出席した。会議の出席者は芸術家、新聞人、女子生徒と男子青年、及び教員、計 30 名であった。
- (4) 軍政部関係課と日本の職員たちの双方を通して次のニュースの諸項目が伝達されている。米穀の供出、電力不足、納税の促進の宣伝カー、チフスの免疫対策、看護学校、学校のガラスに関する実態。全項目は 12。
- (5) 優先順位に従い CI&E 課が定期的に受理した 18 の地方紙のニュース項目の情報スクラップが、1 月 13 日に始まり、設置されている。スクラップの記事は報告される情報をチェックするために各課の間で回覧されている。19 日の期間（1 月 13 日～31 日）にわたるいくつかのテーマごとに項目についての簡単な要旨を述べれば下記のとおりである。これらの項目の“傾向”は地方的だということである。

食糧（米穀の徴収、魚と野菜、価格、統制及び配給）：102

燃料（生産、保存）：12

農業（農地改革、協同組合）：14

税金（徴税の方法とスケジュール、警告、罰則）：45

社会の安定：10

教育（政策、試験スケジュール、特別問題）：58

これらの項目は、地方の報告者による報告だけでなく、県と他の地方の職員による新聞社への報告をも示している。

- (6) 経済課は、空軍、第 158 連絡飛行部隊とともに、米穀の配給割合の充足を促進するリーフレットを投下する計画を立てた。日本の報告者だけに通報され、そして第 5 空軍と協働して日本の新聞で使うための写真を伝達するための計画を立てた。
- (7) 地方ごとに愛知軍政部に送られた新聞の切り抜きの翻訳及び日本の諸事情についてのジジ新聞 [JIJI press] の事項は軍政部の各課に配布された。
- (8) 公開された事柄や聞き取りの報告、取扱いの正確さを話しあうために地方の編集者たちと会合を開いた。
- (9) 放送番組について研究し、県の部局との協働について話し合うために、JOCK の職員たちと会合を持った。

3 他の CI&E 諸問題

a. 英語の日本人教員のための土曜午後のクラスは出席者が増加したので名古屋で再開された。

b. 190 名の教員が、1 月中に愛知適格審査委員会によって審査され、187 名が適格と審査され、3 名が不適格と判明した。

c. 1947 年 4 月 3 日、適格審査委員会によって追放されたが、自ら実情を訴えたレイリン・アサノ (Reirin Asano) は、伝えられるところによれば、政府の一部局、愛知学園の理事長である。この問題 (の対応) については、本司令部の行動の在り方を法的行為に委ねられている。

d. 1947年11月に地方 CI&E で本司令部と開始された学校へのガラス配分についての調査は、1月を通して続けられた。

e. 愛知県の学校予算は CI&E 担当官によって二度検討され、彼は分析の結果、いくつかの変更点を助言した。

f. CI&E 担当官は1月7～9日京都で会議に出席した。

g. 1月中に、次の講義が CI&E 職員によって行われた。

<u>聴衆の特色</u>	<u>場所</u>	<u>月日</u>	<u>出席者数</u>
CI&E 担当官：			
中学校・実験室代表	岡崎	1月19日	62
〃	豊橋	1月20日	50
〃	名古屋	1月22日	44
〃	一宮	1月23日	53
英悟教員	名古屋	1月24日	205
CI&E 補佐官：			
社会教育学級	海部郡佐織町	1月9日	105
中部日本新聞社の ニュース配給者	名古屋	1月15日	P.T.O
婦人団体の共同会議 (代表者)	半田市	1月20日	50
新川婦人団体	新川町	1月22日	400
PTA 連合会議	挙母・ 挙母地区	1月26日	125

h. 先月、次の人々が本課を訪れた。富山 CI&E ナーシャル [Narshal] 氏；CI&E SCAP モトフジ [Motofuji] 氏；東海北陸地区 CI&E マッケルハーネイ [McElhaney]；東海北陸 CI&E パーカー [Parker] 氏；CI&E SCAP シャイブリー [Shively] 氏；東海北陸地区司令官ドゥモン [Dumont] 大佐

[以上、GHQ/SCAP RECORDS, BOX No.2496 SHEET No.CAS(B)-01085、新海英行訳]